

進む道が見えてきた？

東京研修に143人参加

平成21年度の東京研修は昨年8月、2泊3日の日程で、第2学年143名(男子88名、女子55名)が参加、実施しました。

初日は、羽田に10時前に到着。約20名、50名の5つのグループに分かれ、都内の企業・施設(日本科学未来館、科学技術館、飛鳥建設、東京証券取引所、外務省、リクルート本社、国会議事堂など)を見学しました。日本科学未来館では、偶然にも元宇

宙飛行士の毛利衛さんと写真を一緒に撮ることができたり、飛鳥建設では2万年前の南極の氷を味わえたりした生徒もいて充実した一日でした。

2日目は、東京大学のオープンキャンパスに参加。朝の開始時間から大学内の多くの施設の見学、各学部学科の模擬授業など、積極的に取り組む生徒が多く、今後の学習意欲の向上に役立ったと思われる。また、赤門、安田講堂前では多くの生徒が撮影を行っており、記念の一日になったのではないかと考えます。

同日夜は、同窓会東京支部の浅島曠士支部長、望月菊磨副支部長、岡岡康秀事務局長、原秀樹学年幹事、山内大典学

生部会長を招いて、大学生、大学院生、約30名と共に懇親会を行いました。夕食より約3時間の懇親会は、時間の経つのも忘れるぐらい盛り上がり、「東京での暮らし、自分の進路の重要な参考になり、有意義な時を持てた」とレポートに記している生徒も多数見られました。

3日目、最終日は、昨日の懇親会の参加学生に案内役を

頼み、一橋大、東工大、早稲田大、慶応大の訪問見学を行いました。そして、最後は、東京のシンボルでもある東京タワーに集まり、東京を一望し、カツカレーを食べ羽田へと向かいました。

福岡空港解散式。少し疲れた表情の中にも充実感と、達成感が目の輝きの中に、垣間見ることができ、今回のこの

研修が進路選択、進路意識の啓発に役立つものと、確信しております。

最後になりましたが、今回の研修の事前準備に、支部長はじめ多くの方々に尽力いただきました。おかげをもちまして、無事充実した研修を終えることができました。ありがとうございました。

(高29 川崎一由)

頑張れ陸上部

毎年11月の第2金曜日、高二年生から八回生までの陸上競技部員35名は、顧問の梶山彦三郎先生の彦三をとって「彦三会」と名付け、先生を囲んで昔の高校生に戻って楽しいひと時を過ごしています。途中とぎれた事もありましたが、20年近く続いています。

平成18年の彦三会で、6回

深紅の横断幕完成

生の吉次君から、「この前嘉穂であった高校駅伝の応援に行ったら、母校のチームが出場して頑張っていたけど、ちょっと寂しかった」という話がありました。「ふうん、後輩達も駅伝に出るくらい部員もかなりいて活発に活動しようとなね。でも、どうして寂しかったとね」応援は地元なら多かるうばってん」昔は何もないのが当たり前だったもんね。ひとりで黙々と走ってタスキをつないだもんだい」他の高校は応援の人も多かったが、応援の『のぼり旗』が、走路にくつも立つとるとたい。母校は、何もなかったいね』のぼり旗を見ただけでも力が湧いてくるつちやないかいな」そうやね、私たちも年だし、応援にあまり行けんけん」ということで、頑張れの願いをこめて、また、陸上競技部に彦三会が存在していた証として、更に彦三会をやっているのは、自分達の思いだけで、会が消えれば何も残らない。それでよいのか、全員一致で「よし、贈ら

う」ということになりました。平成20年の彦三会で、吉次君から報告がありました。後輩達もものすごく喜んでくれていたこと、その喜びあふれる後輩からのメッセージ。感激!! そんなに喜んでくれて励みになるなら、私達もほしかった競技場で掲げる「横断幕」も贈らうと、深紅の横断幕を贈りました。

会員一同、よい機会を与えてくれた吉次君や後輩達に感謝しながら、戦後草ぼうぼうの平和台で、初めて、スエーデンリレーで優勝したこと、福岡市大会で優勝したことなど話に花が咲きました。

平成21年度の彦三会は、

きつと、深紅の横断幕に思いをはせながら、話がはずむことでしょう。

私たちの願いを込めて、
フレージング!!!
フレージング!!!
フレージング!!!

陸上競技部
(彦三会会長(高2)元陸上競技部マネージャー岡松弘倫)

平成21年10月31日午後6時から、大阪・梅田スカイビル・タワーウエスト22階で同窓会関西支部主催の第26回親睦の集いが開催されました。

今回の集いには、前回は上回る56人が参加。中17回の先輩から高61回の現役大学生まで、祖父母・孫世代が集まりました。同窓会ならではの光

景でしょう。

来賓として現校長の城戸英敏先生、田中義明同窓会会長(高9)、加藤久嘉同窓会事務局長(定15)のご出席を賜り、感謝しております。

席上、関西支部の各役員のご紹介も紹介され、支部長が長野良三氏(高11)から篠原哲朗氏(高21)に交代。併せて事務局長に相楽保子さん(高15回)、幹事長に井上信治氏(高40)の就任も発表されました。

今年は各年次の会員のおかげで、楽しく集いを終えることができました。一方、福岡や東京の同窓の方々のご支援には紙面をお借りして感謝申し上げます。さらに若い力も出てきており、九州・関東・関西と連携を深め、会員のお役に立ちたいと思います。

(高29 井上義之)

親睦の集い 56人が参加

関西支部

平成21年10月31日午後6時から、大阪・梅田スカイビル・タワーウエスト22階で同窓会関西支部主催の第26回親睦の集いが開催されました。

今回の集いには、前回は上回る56人が参加。中17回の先輩から高61回の現役大学生まで、祖父母・孫世代が集まりました。同窓会ならではの光

景でしょう。

来賓として現校長の城戸英敏先生、田中義明同窓会会長(高9)、加藤久嘉同窓会事務局長(定15)のご出席を賜り、感謝しております。

席上、関西支部の各役員のご紹介も紹介され、支部長が長野良三氏(高11)から篠原哲朗氏(高21)に交代。併せて事務局長に相楽保子さん(高15回)、幹事長に井上信治氏(高40)の就任も発表されました。

今年は各年次の会員のおかげで、楽しく集いを終えることができました。一方、福岡や東京の同窓の方々のご支援には紙面をお借りして感謝申し上げます。さらに若い力も出てきており、九州・関東・関西と連携を深め、会員のお役に立ちたいと思います。

(高29 井上義之)

全九州高校新人陸上 女子400m

木原舞弓さん感激のV



私は平成21年沖縄で10月9日から11日まで行われた第27回全九州高等学校新人陸上競技大会の女子400メートルに出場し、優勝(57・04秒)することができました。夏のインターハイでの経験を今回の大会に活かし、高校生になつての初優勝を九州大会で飾れ、本当にうれしく思っています。

400メートルは本当に過酷な種目です。何度も何度もいやになって、自分の日々の練習に価値を見出せなくなつたこともありましたが、しかし、「ここで逃げては後悔する」と、そのたびに自分を奮い立たせました。陸上部員のみならず、クラスの友人には本当に感謝しています。顧問の先生や、学校の先生方も声をかけ

伝統つづり続け

PTA広報誌「丘の上」

PTA広報誌「丘の上」は平成12年3月に創刊しました。3月と7月の年2回発行しています。今年で満10年の比較的历史の浅い広報誌ですが、創刊号が平成13年度九州地区高等学校PTA大会でいきなり優秀賞を受賞し、翌年の福岡県高P連大会福岡地区会長賞、昨年は同じく優良賞をいただきました。

これもひとえに歴代広報委員の汗の結晶だと思います。「丘の上」に集まった方々の絆を感じます。

現在、広報委員会は同窓会事務局のスタッフに温かく迎え入れていただけて、会議室を使って活動しています。原稿をお願いした方々の思いのすべてを、分かり易く見やすい紙面で読者にお届けできるように心がけています。半面、お茶やお菓子、それにお喋りをしながらの楽しい作業です。納得のいく紙面になるまで4〜5回の校正をします。

企画から発行までに費やす活動日は多いのですが、筑高に脈々と流れる気遣や伝統、子供たちの生きいきとした姿に接することなど得るものも少なくありません。

このような機会に恵まれ、感謝いたします。

(前PTA広報委員長 吉田紀美)



陸上競技部「彦三会」が贈った「必勝」の横断幕